



鐵輪 宮崎精鋼株式会社

名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成26年9月号

「第55期定時株主総会」

当社第55期（平成25年6月1日から平成26年5月31日まで）の定時株主総会は本社第3会議室において、去る8月28日午後4時より、株主総勢15名のうち、新日鐵住金(株)殿、大同特殊鋼(株)殿、(株)メタルワン殿をはじめ14名（委任状を含む）が出席して開催されました。

まず、第55期の事業報告が議長である社長からありました。当期は販売量177千トン（前期比4.2%増）、売上高263億円（同2.5%増）、経常利益4億3千7百万円（同27.6%）、純利益2億4千4百万円（同26.9%）となりました。

当期は日本政府による経済政策の効果から、個人消費が増加し、一部に消費税引き上げに伴う駆け込み需要もありました。その後、駆け込み需要の反動減もありましたが、次第にその影響も薄れ、穏やかに回復をしています。当社が大きく関わる自動車業界の生産・販売は4月以降も大きな落ち込みにはならず、堅調に推移しています。一方で、自動車メーカーは生産を海外へ移転する動きを加速しています。

このような経済環境の下、中期経営計画「CGF」(Challenge the Global Future)の1年目の当期には知多工場に線材製品倉庫の建設を開始しました。この10年程継続的に行ってきた設備投資もほぼこれで終了し、この新製品倉庫完成のあかつきには工場内の線材製品の物流が大幅に効率化される見込みです。また3月には「CGF」の一環としてメキシコに「ミヤザキセイコウ・デ・メヒコ」(MIYAZAKI SEIKO DE MÉXICO, S.A. DE C.V.)を設立しました。

なお、総会では、すべての議案（第1号議案：第55期計算書類承認の件、第2号議案：剰余金の処分の件、第3号議案：取締役10名選任の件、第4号議案：監査役1名選任の件、第5号議案：退任監査役に退職慰労金贈呈の件）につき承認をいただきました。

第2号議案の剰余金の処分については、期末配当を前年同様に1株につき75円とすること、別途積立金に2億5千万円を積み立てることが承認され、別途積立金の総額は29億円になります。第4号議案では辞任された赤松監査役にかわり松岡監査役が選任されました。

以上

